

新規実施項目のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
このたび、下記の検査項目を新たに受託開始いたしますので、
ご利用いただきたくご案内いたします。
当社におきましては、皆様のご要望に幅広くお応えすべく研鑽
を重ねてまいりますので、今後とも引き続きお引き立てのほど、
よろしくお願い申し上げます。

敬 白

記

■ 実施日 平成 25 年 2 月 1 日（金）ご依頼分より

■ 新規項目内容一覧

項目コード (統一コード)	検査項目	検体量 (mL)	容器	保存	所要 日数	実施料 判断料	検査 方法	基準値 (単位)	備 考
Y353 5	膵臓癌血漿 プロファイリ ング検査	血漿 (EDTA-2Na 加) 1.0	C ↓ X	凍結 (-70℃)	10~ 14		MALDI- TOF-MS		タンパク質の発現データを 解析し、膵臓癌の存在リス クをスコア0~100で評価 する研究検査です。 採血後、速やかによく混和 させ、直ちに低温(4℃)で 血漿分離してください。血 漿は必ず-70℃で凍結保 存してください。 他項目との重複依頼は避け てください。 &ク

本検査は研究を目的とした検査です。

● 膵臓癌血漿プロファイリング検査

プロテオーム解析により膵臓癌存在リスクを算出する研究検査です。

このたび、受託開始いたします本検査は、血漿中のタンパク質を MALDI-TOF-MS*により網羅的に質量分析し、そのデータから膵臓癌の存在リスクを独自のアルゴリズムを用いて解析する新しい研究検査です。

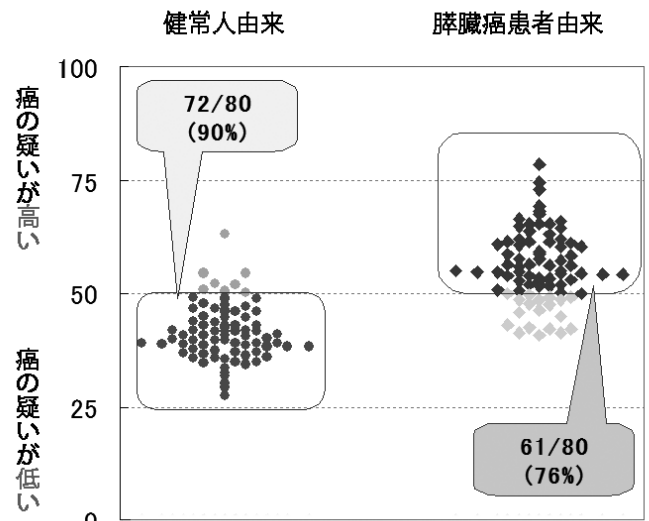
日本人の膵臓癌患者 80 症例および健常人 80 症例の解析から構築され、膵臓癌の存在リスクを 0~100 の判定スコアで表わします。

この検査では特異度 90%を判定スコア 50 に設定しており、その際の感度が 76%とされています。右図は測定・解析委託先である Oncomics 社による本検査の判定スコア分布図です。

膵臓癌存在リスクの予測においては、判定スコア 50 以上がひとつの目安となります。

膵臓癌の早期発見や、自己免疫性膵炎との鑑別などを目的とした研究にご活用ください。

▼ 参考資料 (測定・解析委託先資料より)



この検査では、特異度90%を判定スコア50に設定しています。

★MALDI-TOF-MS

レーザー光を吸収するマトリックスと分析物の混合物にレーザー照射し、タンパク質を分解させずにイオン化する方法 (MALDI) と、生成されたイオンの質量電荷比によりイオンの飛行時間が異なることを利用して質量分析を行う方法 (TOF-MS) を組み合わせた方法。

MALDI : Matrix-Assisted Laser Desorption/Ionization マトリックス支援レーザー脱離イオン化

TOF-MS : Time-of-Flight Mass Spectrometry 飛行時間型質量分析法

▼検査要項

検査項目名	膵臓癌血漿プロファイリング検査
項目コード No.	Y353 5
検体量	血漿 1.0 mL
容器	C (EDTA-2Na 入り) →X (ポリスピッツ)
保存方法	凍結 (-70℃) 保存してください。
所要日数	10~14 日
検査方法	MALDI-TOF-MS*
基準値 (単位)	(スコア)
検体取り扱い方法	採血後、速やかによく混和させ、直ちに低温 (4℃) で血漿分離してください。血漿は必ず-70℃で保存してください。
備考	タンパク質の発現データを解析し、膵臓癌の存在リスクをスコア 0~100 で評価する研究検査です。 採血後、速やかによく混和させ、直ちに低温 (4℃) で血漿分離してください。血漿は必ず-70℃で凍結保存してください。 他項目との重複依頼は避けてください。 &ク

測定・解析委託先：株式会社 Oncomics (&ク)

●検査方法参考文献

Yanagisawa, K, et.al. : International Journal of Proteomics 2012 : 1~11, 2012.